

「平和のために祈る日」（2014年10月5日）に関するお願い

教皇フランシスコは、イラク北部の人々が体験している人道的危機に直面し、憂慮を深めています。8月7日には、教皇庁・広報局長を通して、「全教会とすべての信者が、過酷な被害を受けている共同体のために声をそろえて祈り続け、聖霊が平和のたまものを送ってくれるよう祈り求めてほしい」というアピールを発信しました。

この意向に応えるよう、日本でも、9月の常任司教委員会において本件が討議されました。その結果、「平和のために祈る日」を、「アシジの聖フランシスコ修道者の記念日」翌日の10月5日（日）に決めました。

今、なお激しい戦闘が続く国々や地域（特にイラク北部）のために、全教会において心をあわせてお祈りいただきますよう、お願いいたします。

なお、日本カトリック典礼委員会が作成し、9月常任司教委員会で承認された、「平和を求める祈り」を、各小教区での当日の主日ミサ中の共同祈願、またその他の集まりにおける祈りのために、ご活用ください。

全教会の祈りをもって、紛争地域の人々に一日も早く平安が訪れますように。

祈りをこめて

日本カトリック司教協議会

平和を求める祈り

平和の源である神よ、
今なお激しい戦闘が続く〇〇〇（国や地域の名を加える）では、
平和を望む多くの人々が犠牲となっています。
苦しむ人、虐げられている人を支えてくださるあなたに祈ります。
国々の指導者を正しく導き、
憎しみではなく愛を、争いではなくゆるしを、
分裂ではなく一致を求める心をお与えください。
住む家をなくし、恐怖と不安の中での生活を強いられている人々を力づけ、
心と体に安らぎをお与えください。
すべての人に、争いや暴力を退け、
平和を実現しようとする強い意志をお与えください。

いつくしみ深い神よ、
この世界に聖霊を豊かに注ぎ、
敵対する人々の心から怒りの炎を消し去り、
絶望にあえぐ人々の心に希望の火をともしてください。
あなたが望まれる和解と平和が、一日も早く実現しますように。
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

または

- 先唱 平和の源である神よ、
今なお激しい戦闘が続く〇〇〇（国や地域の名を加える）では、
平和を望む多くの人々が犠牲となっています。
苦しむ人、虐げられている人を支えてくださるあなたに祈ります。
- 一同 神よ、平和のたまものをすべての人に。
- 先唱 国々の指導者を正しく導き、
憎しみではなく愛を、争いではなくゆるしを、
分裂ではなく一致を求める心をお与えください。
- 一同 神よ、平和のたまものをすべての人に。
- 先唱 住む家をなくし、恐怖と不安の中での生活を強いられている人々を力づけ、
心と体に安らぎをお与えください。
- 一同 神よ、平和のたまものをすべての人に。
- 先唱 すべての人に、争いや暴力を退け、
平和を実現しようとする強い意志をお与えください。
- 一同 神よ、平和のたまものをすべての人に。
- 先唱 いつくしみ深い神よ、
この世界に聖霊を豊かに注ぎ、
敵対する人々の心から怒りの炎を消し去り、
絶望にあえぐ人々の心に希望の火をともしてください。
あなたが望まれる和解と平和が、一日も早く実現しますように。
わたしたちの主イエス・キリストによって。
- 一同 アーメン。